

堺区見守りミーティング講演会を実施しました

開催日時	令和5年2月3日(金) 14時～15時30分
場所	堺市総合福祉会館5階大研修室
テーマ	高齢者の安心のためにできること～災害時にも機能する見守り体制をめざして～
講師	北垣 智基氏(天理大学 人間学部 社会福祉専攻)

参加者 計 82 名(会場：46 名・オンライン：36 名)

民生委員児童委員・校区福祉委員の皆さまと堺市高齢者見守りネットワーク事業の登録者の皆さまにご参加いただきました。

講演会では、「阪神・淡路大震災で、約 8 割が近隣住民などによる救助であったことから、近所の助け合いが大切であることがわかっていて。日頃の見守りは災害時も命や暮らしがつながる環境づくりになりうる」というお話しとともに、様々な事例を紹介していただきました。



- 例
- 災害時配慮を必要とする人と助け合いに協力する近隣支援者とをマッチングし、日常から関係性を築いている事例
 - 一人暮らし高齢者を組織化し、見守られるだけでなく、自分たちができることに取り組んでいる事例
 - 退任した民生委員児童委員が OB 会を組織化している事例

アンケートからの感想など(一部抜粋)

- 具体的な取組事例の紹介があり、災害が起こった時だけ助け合うのではなく、日常からのつながりづくり、取り組みが重要だと分かった。
- 退任した民生委員OB会の組織化に賛成したい。堺でももっと推進してほしい。
- 日頃からのつながりが大事で災害があった時の避難行動を確認しておくことが大事だと思いました。
- ネットワークづくりの重要性、大切さが良くわかりました。
- 「災害が起こった時だけ助け合うことはできない」このような講習会に参加し、地域の方との顔の見える関係づくりが大切だと再確認できました。
- 日頃からのつながり・顔の見える関係作りは大切だと感じた。災害への取り組みの重要性を再認識した。「助けるではなく助かる」が大切だとわかった。



見守りのなかで高齢者が日常生活にお困りのようすがあれば
地域の民生委員児童委員または地域包括支援センターなどの関係機関へ相談してください。

相談いただいた方の同意なく、ご本人に相談内容等をお伝えすることはありません。

- 堺第1地域包括支援センター TEL.222-8082 FAX.222-8083
(担当区域/三宝校区・錦西校区・市校区・英彰校区) 堺区海山町3-150-2
- 堺第2地域包括支援センター TEL.229-9240 FAX.229-9234
(担当区域/錦校区・錦桜校区・浅香山校区・三田丘校区) 堺区今池町4-4-12
- 堺第3地域包括支援センター TEL.223-1500 FAX.223-1522
(担当区域/熊野校区・少林寺校区・安井校区・櫻校区) 堺区京町通1-21
- 堺第4地域包括支援センター TEL.275-8586 FAX.275-8587
(担当区域/神石校区・新湊校区・大仙校区・大仙西校区) 堺区協和町3-128-11

- 堺基幹型包括支援センター TEL.228-7052 FAX.228-7058
堺区南瓦町3番1号 堺市役所本館3F
- 堺区役所地域福祉課 TEL.228-7477 FAX.228-7870
堺区南瓦町3番1号 堺市役所本館2F
- 堺市長寿支援課 TEL.228-8347 FAX.228-8918
堺区南瓦町3番1号 堺市役所本館7F

〈月～金 午前9時～午後5時30分 祝日・年末年始を除く〉



堺区の堺市高齢者見守りネットワーク 事業登録をしている事業所の活動紹介



堺協和郵便局 (堺区協和町)



◇気になる高齢者の方の「見守り」事例はありますか？

「通帳の再発行の手続きが多い」「新たな印鑑に変更したがまたわからなくなる」「前回までは何事もなくATMで出金出来ていたのに、出金の操作がわからなくなる」「暗証番号を忘れてしまう」

◇その時はどのように対応されましたか？

本人の同意のもと、郵便局から高齢者の総合相談窓口である地域包括支援センターへ「気になる高齢者の方」がいるということで相談しました。

◇その後の「見守り」に変化はありましたか？

地域包括支援センターが「気になる高齢者の方」宅へ訪問など対応してくれるので「気になる高齢者の方」の郵便局での対応もスムーズに行えています。「気になる高齢者の方」も周りに見守られているという安心感があると思いますので、これからも地域包括支援センターとしっかり連携を取りながら地域の「気になる高齢者の方」を見守っていきたいと思います。

大阪いずみ市民生活協同組合

●コープのお買物便 (移動販売車) 事業

◇事業の紹介

2012年から地域で決めていただいた停留所に移動販売車で巡回しています。店舗に行くのが大変になった方も、商品を実際に目で見て、お買い物を楽しんでいただきたいと考えています。週1回というペースのため、コープのお店にある商品の中でも賞味期限の長い商品を移動販売車に載せ、お届けするなど、地域貢献の一環として取り組んでいます。

◇見守りについて

いつも来ている人が来ない。次の週になっても来ない場合など、近くで協力してもらっている民生委員さんや役員さんなどに声をかけ、時には一緒に自宅訪問し、安否確認することもあります。週1回お買い物の機会を、ご近所のコミュニケーションを楽しむ場としてとらえてもらい、その中で皆が声を掛け合うことが結果として見守りにつながっているとっていただけると嬉しいです。



●宅配事業

◇事業の紹介

創立以来48年間、日常に必要な商品の宅配を通して、暮らしを支える事業をしています。自前の商品検査センターを持ち、暮らしに安全安心をお届けしています。

◇見守りについて

「暮らしに笑顔をお届けします」をモットーに、配送担当者の意識の向上につとめ、組合員の皆さんの暮らしを想像しながら配送をすすめています。いつも荷受けに来てくださる方がいらっしゃらない場合に、インターホンを鳴らし、倒れている人を発見することもあります。また、玄関先に置いた商品がそのままの状況になっていることがあれば、包括支援センターなど関係機関に連絡して、困りごとがないか確認をいただくことがあります。



高齢者見守りネットワーク協力事業所募集中! 堺市高齢者見守りネットワーク事業 検索

◎登録申し込み先：堺市長寿支援課 電話：072-228-8347 FAX：072-228-8918